



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月21日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イオンファンタジー
コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土谷美津子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経経本部本部長 (氏名) 井上義信

TEL 043-212-6203

四半期報告書提出予定日 平成22年12月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年2月21日～平成22年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	30,972	△4.9	1,427	△4.7	1,335	△3.7	570	△3.7
22年2月期第3四半期	32,582	—	1,498	—	1,387	—	592	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	31.47	31.43
22年2月期第3四半期	32.68	32.66

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	21,763	16,927	77.7	932.68
22年2月期	20,997	16,891	80.4	931.21

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 16,905百万円 22年2月期 16,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年2月21日～平成23年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,702	△4.6	2,600	3.4	2,588	10.1	1,247	10.4	68.80

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期3Q 18,175,688株 22年2月期 18,175,688株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 49,703株 22年2月期 49,502株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期3Q 18,126,095株 22年2月期3Q 18,126,465株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間は、既存事業における部門構造改革として3才から7才を対象としたキッズ部門の再構築を進めるとともに、事業構造改革として「お子さまの健全な育成」をサポートする創育事業を新たな国内事業の柱に育成すべく、「ファンタジースキッズガーデン」の既存店導入を推進してきました。一方、経済成長を続ける中国・アセアンにおける海外事業を当社の新たな成長の柱と位置づけ、社内体制の強化とともに具体的な取り組みとして、中国での子会社イオンファンタジー北京による2店舗の出店やマレーシアFC事業の拡大強化を進めております。

2011年2月期は、以上のように「国内既存事業の再構築」「国内における創育事業の推進」「海外事業の推進」を3つの会社成長の軸として明確に定め、具体的な成長戦略を推進してきました。

第3四半期会計期間は、国内既存事業において売上構成比の大きなプライズグループ（景品獲得ゲーム）の底上げに注力した結果、キッズ向けスウィート部門（ミニクレーン等）で売上高前年同期比4.4%増（既存店伸び率3.7%増）と好調に推移し、遊戯機械売上は79億30百万円と計画対比2.0%増（前年同期比3.5%増）となりました。

一方、カードグループが中心の商品売上は18億35百万円（前年同期比5.2%減）となりました。これは、9月に「ドラゴンクエスト モンスターバトルロードII」が販売終了になった影響であり当初から想定した結果となりました。尚、11月に入り「ドラゴンボールヒーローズ」が新たにリリースされ売上は回復しております。

第3四半期会計期間3ヶ月の業績は、売上高98億7百万円（前年同期比1億60百万円増）、営業利益3億97百万円（同3億77百万円増）、経常利益3億94百万円（同4億13百万円増）、四半期純利益1億40百万円（同2億18百万円増）と大きく昨年を上回りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高309億72百万円（対前年比4.9%減）、営業利益14億27百万円（同4.7%減）、経常利益13億35百万円（同3.7%減）、四半期純利益5億70百万円（同3.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前期末と比べて22億88百万円増加し99億94百万円となりました。主な要因は、売上預け金の増加9億47百万円であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前期末と比べて15億21百万円減少し117億69百万円となりました。主な要因は、新店等の設備投資により有形固定資産が24億69百万円増加したものの、減価償却（33億90百万円）や除売却（2億95百万円）により減少したものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前期末と比べて7億45百万円増加し47億92百万円となりました。主な要因は未払費用の増加7億33百万円であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前期末と比べて14百万円減少し43百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前期末と比べて36百万円増加し169億27百万円となりました。主な要因は、配当金5億43百万円の支払いによる減少と、一方で、四半期純利益5億70百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、45億96百万円（前年同期比22百万円増）となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、41億32百万円（前年同期比1億22百万円減）となりました。その主な内訳は、税引前四半期純利益13億5百万円及び減価償却費35億79百万円の計上による資金の増加と、法人税等の支払8億84百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、43億46百万円（前年同期比17億99百万円増）となりました。その主な内訳は、新規出店や“ファンタジースキッズガーデン”導入等既存店の活性化投資に伴う有形固定資産の取得による支出27億98百万円や、関係会社寄託金の支出15億円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億43百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億43百万円です。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2010年4月6日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,596,934	5,353,552
売掛金	2,500	3,073
売上預け金	2,114,899	1,167,051
商品	330,692	291,287
貯蔵品	371,746	357,688
関係会社寄託金	1,500,000	—
その他	1,077,718	533,276
流動資産合計	9,994,492	7,705,932
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	986,738	1,147,222
遊戯機械(純額)	5,582,602	6,557,748
その他(純額)	540,241	621,984
有形固定資産合計	7,109,582	8,326,956
無形固定資産		
のれん	1,201,570	1,373,223
その他	27,818	44,755
無形固定資産合計	1,229,388	1,417,979
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,158,565	2,229,030
その他	1,271,805	1,317,240
投資その他の資産合計	3,430,370	3,546,271
固定資産合計	11,769,341	13,291,206
資産合計	21,763,834	20,997,139

(株)イオンファンタジー(4343)平成23年2月期第3四半期決算短信

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	977,507	930,871
未払費用	1,797,409	1,063,997
未払法人税等	535,302	351,857
賞与引当金	274,229	131,501
役員業績報酬引当金	29,465	28,754
設備関係支払手形	650,088	976,150
閉店損失引当金	21,916	11,004
その他	506,637	553,191
流動負債合計	4,792,556	4,047,332
固定負債		
その他	43,960	58,540
固定負債合計	43,960	58,540
負債合計	4,836,516	4,105,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,720,428	1,720,428
利益剰余金	13,517,882	13,491,242
自己株式	△79,779	△79,587
株主資本合計	16,905,670	16,879,222
新株予約権	21,647	12,044
純資産合計	16,927,318	16,891,267
負債純資産合計	21,763,834	20,997,139

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年11月20日)
売上高	32,582,746	30,972,007
売上原価	28,758,676	27,727,045
売上総利益	3,824,069	3,244,962
販売費及び一般管理費	2,325,891	1,817,350
営業利益	1,498,178	1,427,611
営業外収益		
受取利息	440	1,776
受取保険金	8,375	9,170
機械仕入割戻	19,043	12,442
その他	11,060	18,692
営業外収益合計	38,920	42,081
営業外費用		
支払利息	1,392	—
減価償却費	127,651	34,487
固定資産売却損	—	84,717
その他	20,836	14,736
営業外費用合計	149,880	133,941
経常利益	1,387,218	1,335,752
特別利益		
役員賞与引当金戻入額	3,302	—
役員業績報酬引当金戻入額	—	451
受取和解金	—	58,420
特別利益合計	3,302	58,871
特別損失		
店舗閉鎖損失	11,163	67,101
閉店損失引当金繰入額	—	21,916
特別損失合計	11,163	89,017
税引前四半期純利益	1,379,357	1,305,606
法人税、住民税及び事業税	1,160,945	1,111,708
法人税等調整額	△373,994	△376,528
法人税等合計	786,951	735,180
四半期純利益	592,406	570,425

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成21年8月21日 至 平成21年11月20日)	当第3四半期会計期間 (自 平成22年8月21日 至 平成22年11月20日)
売上高	9,646,911	9,807,853
売上原価	8,887,721	8,817,967
売上総利益	759,190	989,886
販売費及び一般管理費	739,187	592,477
営業利益	20,003	397,408
営業外収益		
受取利息	2	838
受取保険金	2,512	3,015
機械仕入割戻	4,250	2,082
その他	2,112	1,152
営業外収益合計	8,878	7,088
営業外費用		
減価償却費	42,550	—
固定資産売却損	—	5,288
その他	5,504	4,478
営業外費用合計	48,054	9,767
経常利益又は経常損失(△)	△19,172	394,730
特別利益		
役員業績報酬引当金戻入額	6,048	—
特別利益合計	6,048	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	3,947	10,779
閉店損失引当金繰入額	—	21,916
特別損失合計	3,947	32,695
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△17,071	362,035
法人税、住民税及び事業税	203,359	418,174
法人税等調整額	△142,275	△196,376
法人税等合計	61,084	221,798
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△78,156	140,236

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年2月21日 至平成21年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年2月21日 至平成22年11月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,379,357	1,305,606
減価償却費	4,275,244	3,579,864
固定資産除売却損益(△は益)	80,121	223,850
賞与引当金の増減額(△は減少)	123,865	142,727
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,448	—
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	21,608	710
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,287	—
受取利息	△440	△1,776
支払利息	1,392	—
受取和解金	—	△58,420
売上債権の増減額(△は増加)	3,793	573
売上預け金の増減額(△は増加)	△243,910	△947,848
たな卸資産の増減額(△は増加)	△241,349	△53,463
仕入債務の増減額(△は減少)	79,351	46,636
その他	502,194	651,481
小計	5,960,066	4,889,941
預り保証金の増減額(△は減少)	△22,000	—
利息の受取額	209	1,313
利息の支払額	△1,392	—
和解金等の受取額	—	125,727
法人税等の支払額	△1,681,029	△884,062
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,255,853	4,132,920
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,549,225	△2,798,032
有形固定資産の売却による収入	25,136	72,963
無形固定資産の取得による支出	△7,590	△450
長期前払費用の増加による支出	△26,535	△23,219
敷金及び保証金の差入による支出	△50,481	△28,308
敷金及び保証金の回収による収入	62,337	80,895
関係会社消費寄託による支出	—	△1,500,000
関係会社貸付けによる支出	—	△150,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,546,359	△4,346,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△428	△192
配当金の支払額	△543,532	△543,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,961	△543,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,165,532	△756,618
現金及び現金同等物の期首残高	3,409,390	5,353,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,574,922	4,596,934

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。